

高萩市国民健康保険
第 3 期データヘルス計画・第 4 期特定健康診査等実施計画
-概要版-
令和 6 年（2024）年度～令和 11 年（2029）年度

1 基本的事項

1. データヘルス計画、特定健康診査等実施計画の主旨等

データヘルス計画の主旨	特定健康診査等実施計画の主旨
「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」ことが掲げられた。これを踏まえ、PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定する。	平成 20 年度より「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、特定健康診査・特定保健指導の実施が義務付けられた。同法律に基づき作成された特定健康診査等基本方針に基づき、実施計画を策定する。
	特定健康診査等実施計画に係る対象者
	高萩市国民健康保険加入者で 40 歳から 74 歳の者
データヘルス計画の目的	特定健康診査等実施計画の目的
国保被保険者の健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質の維持及び向上を図る。	国の基本方針（標準的な健診・保健指導プログラム（令和 6 年度版））の見直しの内容を踏まえ、高萩市の現状を考慮した事業の運営を図る。
他計画との位置づけ	
本計画は「第 6 次高萩市総合計画」をはじめ、「第 3 次高萩市健康増進計画（第 3 次健康たかほぎ 2 1）」との調和を図る。	
関係者連携	
国保担当が中心となって、関係部局や関係機関の協力を得て、保険者の健康課題を分析し、計画を策定する。また、後期高齢者医療担当や介護保険担当、生活保護担当と連携してそれぞれの健康課題を共有するとともに、後期高齢者や生活保護受給者の健康課題も踏まえて保健事業を展開する。	
計画の評価	
設定した計画の評価指標に基づき、KDB システム等を活用し、計画の最終年度のみならず、中間時点等計画期間の途中で進捗確認及び中間評価を実施する。	
個別保健事業の評価	
設定した保健事業ごとの評価指標に基づき、KDB システム等を活用し、毎年度、評価を実施し、必要に応じて次年度の保健事業の実施内容等の見直しを行う。	

2. データヘルス計画の構成

基本構成			
計画策定に際しては、まず、KDB システムや公的統計等を用いて死亡、介護、医療、健診などの関連データを分析し、地域における健康課題を抽出する。健康課題の整理に際しては、以下の進行イメージに沿って、特に保健事業における介入により予防可能な生活習慣病に着目する。			
次に、整理した健康課題及び前期計画の振り返りを踏まえ、計画目的及び目標を設定した上で、目標達成のために取り組むべき保健事業の優先順位付けを行い、各事業の評価指標を設定する。			
生活習慣病の進行イメージ			
不健康な生活習慣	生活習慣病予備群 メタボリックシンドローム	生活習慣病	生活習慣病重症化 死亡・介護
【出典】厚生労働省 新たな健診・保健指導と生活習慣病対策 ※本紙 P. 11			

2 健康課題の抽出～目的・目標の設定

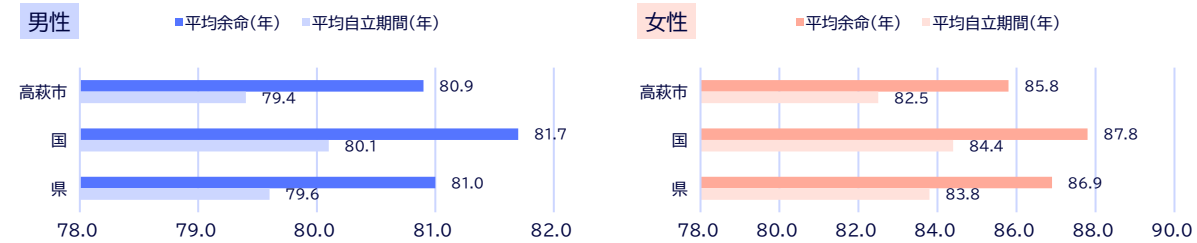
1. 死亡・介護の状況

【平均余命・平均自立期間】

男性の平均余命は80.9年で、国・県より短い。国と比較すると、-0.8年である。女性の平均余命は85.8年で、国・県より短い。国と比較すると、-2.0年である。

男性の平均自立期間は79.4年で、国・県より短い。国と比較すると、-0.7年である。女性の平均自立期間は82.5年で、国・県より短い。国と比較すると、-1.9年である。

平均余命・平均自立期間 ※本紙 P. 5



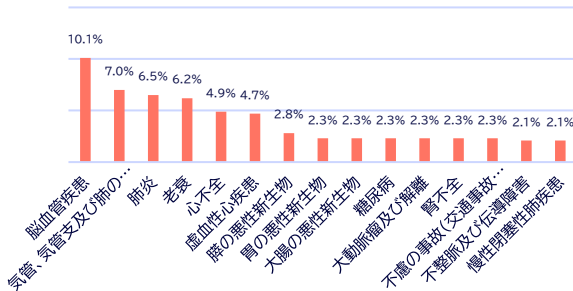
【死亡】

令和3年度の生活習慣病における重篤な疾患の死亡者数及び総死亡者数に占める割合は「虚血性心疾患」18人(4.7%)、「脳血管疾患」39人(10.1%)、「腎不全」9人(2.3%)となっている。

平成25年から29年の標準化死亡比は、「急性心筋梗塞」171.5(男性)150.6(女性)、「脳血管疾患」126.0(男性)144.5(女性)、「腎不全」97.3(男性)115.6(女性)となっている。

死亡割合_上位15疾患 ※本紙 P. 12

標準化死亡比 (SMR) ※本紙 P. 13・14



死因	標準化死亡比 (SMR)		
	高萩市		国
	男性	女性	
急性心筋梗塞	171.5	150.6	100
脳血管疾患	126.0	144.5	100
腎不全	97.3	115.6	100

【介護】

要介護認定者の有病割合をみると、「心臓病」は57.1%、「脳血管疾患」は25.5%となっている。

要介護認定者の有病割合 ※本紙 P. 16

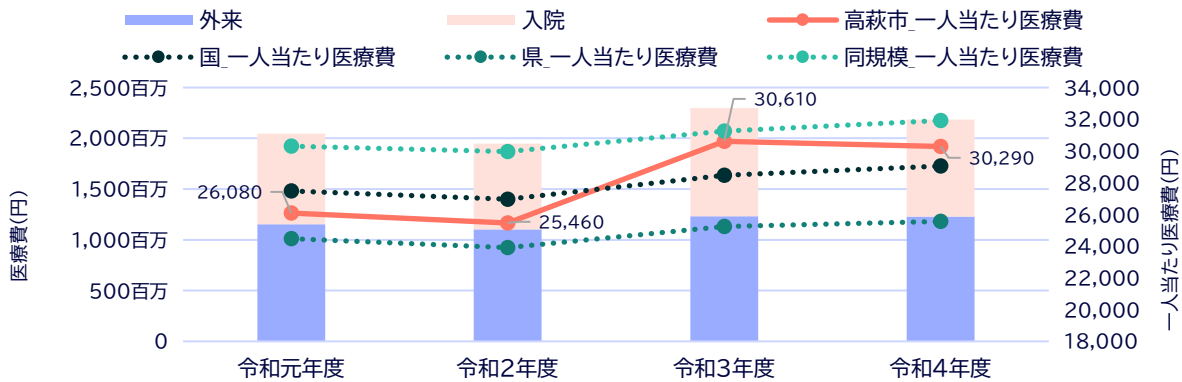
疾病名	要介護・要支援認定者(1・2号被保険者)		国	県
	該当者数(人)	割合		
糖尿病	349	20.3%	24.3%	23.2%
高血圧症	850	50.7%	53.3%	52.0%
脂質異常症	457	26.3%	32.6%	29.0%
心臓病	969	57.1%	60.3%	58.0%
脳血管疾患	428	25.5%	22.6%	22.8%
がん	193	10.2%	11.8%	10.7%
精神疾患	603	36.0%	36.8%	33.6%
うち_認知症	366	22.0%	24.0%	21.8%
アルツハイマー病	295	17.5%	18.1%	17.3%
筋・骨格関連疾患	849	50.8%	53.4%	50.6%

2. 医療の状況

【医療費】総医療費及び一人当たり医療費の推移

令和4年度の総医療費は21億8,600万円で、令和元年度と比較して6.8%増加している。令和4年度の総医療費に占める入院医療費の割合は43.8%、外来医療費の割合は56.2%となっている。

総医療費及び一人当たり医療費の推移※本紙 P.17



		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
						割合	令和元年度からの変化率 (%)
医療費 (円)	総額	2,046,233,700	1,948,336,580	2,297,235,640	2,185,578,790	-	6.8
	入院	891,621,950	844,051,350	1,064,021,470	958,131,220	43.8%	7.5
	外来	1,154,611,750	1,104,285,230	1,233,214,170	1,227,447,570	56.2%	6.3
一人当たり月額医療費 (円)	高萩市	26,080	25,460	30,610	30,290	-	16.1
	国	27,470	26,960	28,470	29,050	-	5.8
	県	24,470	23,910	25,250	25,560	-	4.5

【生活習慣病】入院医療・外来（透析を含む）受診率

「虚血性心疾患」及び「脳血管疾患」を含む「循環器系の疾患」の入院医療費は入院医療費全体の20.7%を占めており、「腎不全」の外来医療費は、外来医療費全体の5.0%を占めている。

生活習慣病における重篤な疾患のうち「虚血性心疾患」及び「脳血管疾患」の入院受診率は脳血管疾患が国より高く、「慢性腎臓病（透析あり）」の受診率は国より低い。

疾病分類（大分類）別_入院医療費_循環器系の疾患 ※本紙 P.19 疾病分類（中分類）別_外来医療費_腎不全 ※本紙 P.23

疾病分類（大分類）	医療費 (円)	入院医療費に占める割合	疾病分類（中分類）	医療費 (円)	外来医療費に占める割合
循環器系の疾患	198,801,260	20.7%	腎不全	60,829,120	5.0%

受診率（被保険者千人当たりレセプト件数）_生活習慣病における重篤な疾患 ※本紙 P.26

重篤な疾患	高萩市	国	国との比
虚血性心疾患	4.5	4.7	0.96
脳血管疾患	13.5	10.2	1.32
慢性腎臓病（透析あり）	13.0	30.3	0.43



【生活習慣病】外来医療、外来（透析を除く）受診率

生活習慣病基礎疾患の外来医療費に占める割合は「糖尿病」が10.2%、「高血圧症」が5.7%、「脂質異常症」が2.8%となっている。基礎疾患及び「慢性腎臓病（透析なし）」の外来受診率は、「脂質異常症」「慢性腎臓病（透析なし）」が国より低い。疾病分類（中分類）別_外来医療費_基礎疾患（男女合計） ※本紙 P.23

疾病分類（中分類）	医療費（円）	外来医療費に占める割合
糖尿病	124,474,060	10.2%
高血圧症	69,506,810	5.7%
脂質異常症	34,255,040	2.8%

受診率（被保険者千人当たりレセプト件数）_基礎疾患 ※本紙 P.26

基礎疾患及び慢性腎臓病（透析なし）	高萩市	国	国との比
糖尿病	732.4	651.2	1.12
高血圧症	876.3	868.1	1.01
脂質異常症	427.9	570.5	0.75
慢性腎臓病（透析なし）	10.6	14.4	0.74

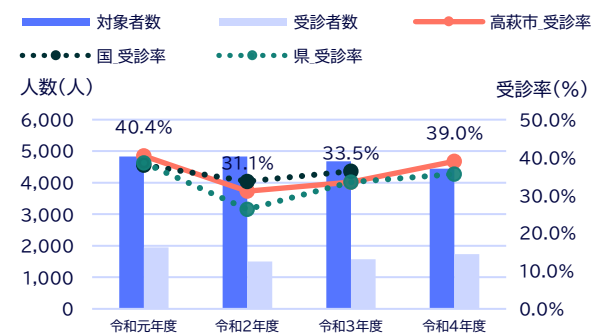


3. 特定健診・特定保健指導

【生活習慣】特定健診受診率・特定保健指導実施率

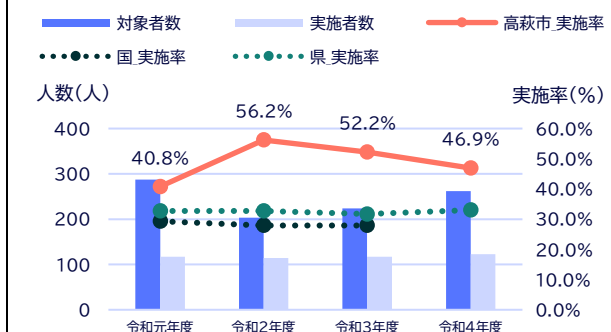
令和4年度の特定健診受診率は39.0%で、県より高い。

特定健診受診率 ※本紙 P.32



令和4年度の特定保健指導実施率は46.9%で、国・県より高い。

特定保健指導 実施率 ※本紙 P.40

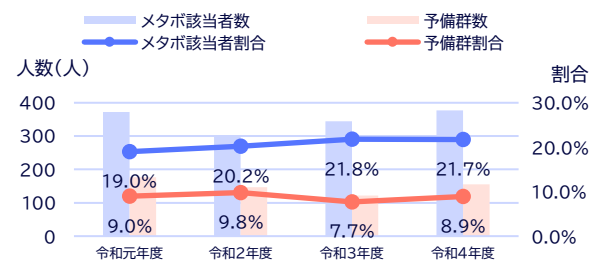


【生活習慣病予備群】メタボ該当者・メタボ予備群該当者

令和4年度特定健診受診者の内、メタボ該当者は377人(21.7%)であり、国・県より高い。メタボ予備群該当者は155人(8.9%)であり、国・県より低い。令和4年度と令和元年度の該当者割合を比較すると、メタボ該当者の割合は2.7ポイント増加しており、メタボ予備群該当者の割合は0.1ポイント減少している。男女別にみると、男性では特定健診受診者の34.0%が、女性では12.0%がメタボ該当者となっている。

メタボ該当者数・メタボ予備群該当者数 ※本紙 P.37・38 高萩市

	高萩市		国	県
	対象者数(人)	割合	割合	割合
メタボ該当者	377	21.7%	20.6%	20.5%
男性	260	34.0%	32.9%	32.6%
女性	117	12.0%	11.3%	10.8%
メタボ予備群該当者	155	8.9%	11.1%	10.2%
男性	117	15.3%	17.8%	16.5%
女性	38	3.9%	6.0%	5.1%



4. 健康課題

①重症化予防

重篤な疾患の発症を防ぐことを目的に、健診を受診し受診勧奨判定値を超えたものに対して適切に医療機関の受診を促進することが必要

②生活習慣病発症予防・保健指導・健康づくり

メタボ該当者・予備群該当者の悪化を防ぎ、減少させることを目的に、特定保健指導率の維持・向上が必要。

③早期発見・特定健診

適切に特定保健指導や重症化予防事業につなぐことを目的に、特定健診受診率の維持・向上が必要。

④介護予防・一体的実施

将来の重篤な疾患の予防のために国保世代への重症化予防が必要。

⑤社会環境・体制整備

後発医薬品の使用割合の維持・向上が必要。

5. 計画の目標

市民の健康課題を踏まえ、データヘルス計画等の目標と個別保健事業を設定し、目標達成に向けた取り組みを推進します。

1. データヘルス計画の目標と個別保健事業

①特定健康診査

共通指標	評価指標	開始時	目標値	目標値基準
▲	【アウトカム】特定健診の2年連続受診者率	29.7%	30.0%	高萩市・令和4年度
● ▲	【アウトプット】特定健診受診率	39.0%	40.0%	高萩市・令和4年度

②特定保健指導

共通指標	評価指標	開始時	目標値	目標値基準
● ▲	【アウトカム】特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	19.4%	20.0%	高萩市・令和4年度
● ▲	【アウトプット】特定保健指導実施率	46.9%	50.0%	高萩市・令和4年度

③糖尿病性腎症重症化予防

共通指標	評価指標	開始時	目標値	目標値基準
● ▲	【アウトカム】HbA1c 8.0%以上の人の割合	1.8%	減少	高萩市・令和4年度
	【アウトカム】HbA1c 7.0%以上の人の割合	5.5%	5.0%	高萩市・令和4年度
	▲ 【アウトプット】 HbA1c8.0%以上の者のうち、医療機関を受診していない者の割合	16.7%	15.0%	高萩市・令和4年度
	【アウトプット】 HbA1c7.0%以上の者のうち、医療機関を受診していない者の割合	16.1%	15.0%	高萩市・令和4年度

④生活習慣病重症化予防

共通指標	評価指標	開始時	目標値	目標値基準
	【アウトカム】健診受診者のうちⅡ度高血圧の者の割合	7.8%	7.0%	高萩市・令和4年度
	【アウトカム】通知対象者の医療機関への受診率	17.4%	20.0%	高萩市・令和4年度
	【アウトプット】対象者への受診勧奨通知の発送率	100.0%	100.0%	高萩市・令和4年度

⑤後発医薬品差額通知

共通指標	評価指標	開始時	目標値	目標値基準
	【アウトカム】後発医薬品の使用割合	81.2%	82.0%	高萩市・令和4年度
	【アウトプット】差額通知発送率	100.0%	100.0%	高萩市・令和4年度

※●：国が示す全ての都道府県で設定することが望ましいとされる指標

▲：茨城県が設定する共通指標

2. 特定健康診査等実施計画の目標

① 特定健康診査

評価指標	開始時	目標値	目標値基準
特定健診受診率	39.0%	40.0%	高萩市・令和4年度

② 特定保健指導

評価指標	開始時	目標値	目標値基準
特定保健指導実施率	46.9%	50.0%	高萩市・令和4年度